

前期基本計画 平成28年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：04 長寿社会の安心と生きがいのための支援

主管課長職・氏名	高齢者支援課長 鈴木常明
関係課長職・氏名	地域包括支援センター所長 佐藤修子

1. 基本施策の平成28年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	<p>市民が幸せを実感し、健やかで笑顔にあふれ、互いに支え合うまちを目指すため、長寿社会の安心と生きがいのための支援を推進します。そのためには、介護の必要な状態になった時でも安心して住み慣れた地域で暮らせるための介護保険制度の適正な運営が必要です。また、多くの高齢者が「睦大学」や「老人クラブ」「コミュニティ活動」などに参加することで、生きがいのある日々を過ごし、そして支援が必要な時も互いに支え合いながら適切な支援が受けられ、自分らしい暮らしを続けられることを目指します。</p>
--	---

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 老後が不安なく過ごせると感じている人の割合 単位 %	14.4	14.6	14.8	15	15.2	15.4	A	
			15.7	16.6	-	-	-	220.0	
2	幸福 いざという時に、頼れる相手がいる人の割合 単位 %	68.8	69	73	74	75	76	C	
			72.5	70.8	-	-	-	27.8	
	単位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 02040100 安心して暮らせるための介護保険制度の運営 老後が不安なく過ごせると感じている人の割合 単位 %	14.4	14.6	14.8	15	15.2	15.4	A	
			15.7	16.6	-	-	-	220.0	
2	幸福 02040100 安心して暮らせるための介護保険制度の運営 いざという時に、頼れる相手がいる人の割合 単位 %	68.8	69	73	74	75	76	C	
			72.5	70.8	-	-	-	27.8	
3	暮らし 02040200 いきいきと暮らすための高齢者福祉の支援 趣味の教室や講座に参加するなど、自ら学ぶ機会を持っている人の割合 単位 %	27.6	27.7	28	28.5	29	29.5	A	
			27.5	28.2	-	-	-	31.6	
4	幸福 02040200 いきいきと暮らすための高齢者福祉の支援 地域に役に立つ機会を持っていると感じている人の割合 単位 %	28.8	30	33	36	39	42	B	
			30.7	32	-	-	-	24.2	
	単位								

前期基本計画 平成28年度 基本施策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまちを目指します

基本施策：04 長寿社会の安心と生きがいのための支援

主管課長職・氏名	高齢者支援課長 鈴木常明
関係課長職・氏名	地域包括支援センター所長 佐藤修子

2. 基本施策の実現に向けての平成28年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
<ul style="list-style-type: none"> 「第6期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境の構築に取り組みました。 安心して暮らせるための介護保険制度の適正な運営を図りました。特に介護保険制度改革に係る適切な対応や、介護予防・日常生活支援総合事業等の体制整備に取り組みました。 セーフティネットである各種高齢者福祉対策や、いきいきと暮らすための高齢者の社会参加等の支援を継続しました。 	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成28年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度の適正な運営 「睦大学」「老人クラブ」などの生きがいに結び付く活動の支援 <p>【重点課題の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度の適正な運営を図りました。 「睦大学」「老人クラブ」などの生きがいに結び付く活動を支援しました。 	

3. 基本施策の実現に向けての平成28年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

A	社会環境変化なし
<p>高齢化を見据えた介護保険制度の見直し、また多様化するニーズに対応できる介護保険制度運営と高齢者福祉の体制整備が必要となります。</p>	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<p>介護保険制度の適正な運営を図り、また「睦大学」や「老人クラブ」などの生きがいに結び付く活動や社会参加を支援することは、「健やかで笑顔にあふれ、互いに支えあうまち」づくりに繋がります。</p>	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成30年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>健全な介護保険制度の運営、老人福祉措置等セーフティネットの維持は当然のことながら、健康寿命の延伸に繋がる社会参加、生きがいに結び付く支援を継続していく必要があります。</p> <p>【引継課題】</p> <p>健全な介護保険制度の運営、老人福祉措置等セーフティネットの維持及び健康寿命の延伸に繋がる社会参加、生きがいに結び付く支援の継続</p>	

